

# 北沢デザイン通信

第8号

～思いつながる、人つながる、街つながる～

令和4年8月発行  
世田谷区北沢総合支所街づくり課

## シモキタリングまちづくり会議(旧 北沢PR戦略会議)の活動について

名称が  
変わりました

シモキタリングまちづくり会議とは

小田急線上部に整備する各施設の活用や周辺部を含む「まちの魅力」を高める取り組みを検討し、実践する場として、平成28年から開催しており、現在8つの部会を中心に活動しています。

令和4年3月には、これまで5年間の活動を踏まえ、住民参加と地域住民の自主的な活動をより深化させ、地元の町会や商店街などと連携を深める趣旨で、「北沢PR戦略会議」から「シモキタリングまちづくり会議」へ名称を変更しました。



▲今後、リーフレットなどを通して、名称変更や活動内容を幅広くお知らせしていきます。

### トピックス① 第5回 報告会が開かれました。

令和4年3月21日(月・祝)にシモキタリングまちづくり会議第5回報告会が開かれました。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、小田急線線路跡地の屋外で開催され、パネルなどにより各部会の活動や名称変更について報告されました。



報告会の様子

### トピックス② 下北沢まちの案内所を移設しました。



移設後の案内所の様子

令和4年6月に下北沢駅前の「下北沢まちの案内所」を、駅前広場の工事に伴い、しもきたスクエア内から小田急線東口改札前に移設しました。

引き続き、案内部会のメンバー、ボランティアの方々により小田急線上部利用の街づくりの取り組みの周知や、まち案内を行っています。



移設工事の様子(クレーンで吊り上げました。)

## 区ホームページ・問い合わせ先

「02経過報告及び今後の取り組み」及び「03地域によるまちの活用の事例紹介」等の当日資料及び、「05意見交換」の詳細は下の2次元コードからご覧いただけます。



世田谷区オフィシャルチャンネル(YouTube)で、小田急線上部利用施設の紹介動画をご覧いただけます。

世田谷区のホームページでも小田急線上部利用の情報を公開しています。

世田谷区 小田急線上部利用の街づくり 検索

### 問い合わせ先

〒155-8666 世田谷区北沢2-8-18  
北沢タウンホール 11階

【本通信及び北沢デザイン会議について】  
北沢総合支所街づくり課  
TEL 03-5478-8031 FAX 03-5478-8019

【小田急線上部利用施設等の整備について】  
北沢総合支所拠点整備担当課  
TEL 03-5478-8012 FAX 03-5478-8019

小田急線  
上部利用施設に  
関する取り組み等  
についてご報告  
します。



シモキタ雨庭広場  
開園式の様子

KITAZAWA design



世田谷区では、北沢デザイン通信を通じて、小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)沿線の街づくりの情報を幅広くお知らせしています。

本号では、令和4年3月に行われた第8回北沢デザイン会議でお知らせした小田急線上部利用施設や京王井の頭線高架下利用施設に関する取り組み等のほか、加えて最新の情報をご報告します。

◀下北沢駅周辺から  
世田谷代田駅方面を望む

# 第8回 北沢デザイン会議

北沢デザイン会議とは  
小田急線の上部利用など小田急線沿線の街づくりの取り組みについて、誰もが自由に参加できる情報共有・意見交換の場として、平成26年から開催しています。

## 開催概要

【日時】令和4年3月13日(日)  
【場所】北沢タウンホール2階ホール  
及びオンライン開催  
【参加者】約130名  
(ホール、オンライン合計)

- 【プログラム】
- 01 開会あいさつ
  - 02 経過報告及び今後の取り組み
    - ・世田谷区の上部利用施設の情報
    - ・小田急電鉄の上部利用施設の情報
    - ・京王電鉄の取り組み紹介
  - 03 地域によるまちの活用の事例紹介  
自由が丘(目黒区)の事例紹介
  - 04 デザインアドバイザーより
  - 05 意見交換



会場の様子

## 01 開会あいさつ

平成26年から始めた北沢デザイン会議が、長期にわたって開催することができていることは、みなさんのご協力の成果だと思っています。

平成27年に小田急線上部利用施設の整備について「北沢デザインガイド」を策定し、デザインアドバイザーの東京大学大学院 出口敦先生にご助言をいただき、これまで9割程度の施設が完成を迎えてきました。

当初は線路の上に何ができるのか、下北沢らしさというものが全く違うものになってしまうのではないかとこのような心配の声もありましたが、小田急電鉄や京王電鉄からも、下北沢を中心としたエリアに新しい価値や文化をインプットして、幅を広げるといった内容の商業施設が提案されたと思います。

街は確かに形を成してきましたが、本格的につなげて脈を打ち出すのは、これからです。施設が完成し、今度は、エリアマネジメント活動やみどりを継続する活動など、ソフトの時代に移ります。

このようにして、「参加と協働」で様々な課題を乗り越えて、世田谷区、そして区民のみなさん、商業・事業者のみなさん、鉄道事業者各社のみなさん、下北沢に想いを持って関わっていくみなさん、それぞれが立場を越えて熱く語り合っただけで今日を迎え、これまでたくさんの方々の努力があったことに感謝申し上げます。

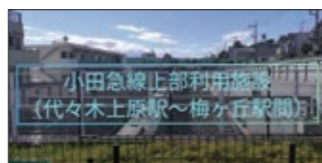


世田谷区長  
保坂 展人

## 02 経過報告及び今後の取り組み

世田谷代田駅から東北沢駅までの上部利用施設等の完成部分や今後の取り組みについて、世田谷区・小田急電鉄・京王電鉄より報告しました。

経過報告(完成部分)については、  
P.4~7をご覧ください。  
今後の取り組みについては、P.8~9をご覧ください。



## 03 地域によるまちの活用の事例紹介



自由が丘商店街振興組合  
都市再生推進法人  
(株)ジェイ・スピリット  
中山 雄次郎 事務長

(株)ジェイ・スピリットの中山事務長より、自由が丘駅前広場等の公共空間の活用事例、組織体制及び住民参加の仕組みについて、お話しいただきました。(事前収録動画を放映しました。)



当日の資料については、世田谷区のHPでご覧いただけます。(P.12参照)

## 04 デザインアドバイザーより

デザインアドバイザーの出口先生より上部利用施設の今後について、お話しをいただきました。

### 下北沢駅前広場の整備

段差の解消、照明の配置など、細部のチェックを進めながら、誰もが使いやすい広場を整備していただきたいと思います。整備がゴールではなく、区と住民とが一緒になって、いい状態を保てるように進めてください。また、今後は、利活用と管理運営の両面に取り組む局面に入ってくると思います。

### 安全な街が第一

魅力的な空間が出来上がってきて、人が集中し始めています。ぜひ安全な街にしていきたいと思います。

### デザインからマネジメント、マネジメントからさらにガバナンスへ

北沢地域には既にいくつもの団体が活動しており、それをどうやってネットワーク化し、地域全体のマネジメントの組織体制をつくっていくのか、ポイントは3つあると考えます。

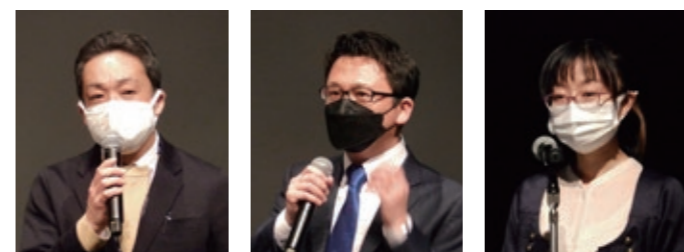
- ①「デザインガイド」に代わる「マネジメントガイド」の検討
- ②地域で熱心に活動されている団体を上手くネットワークしていく組織の構築
- ③公共的な資金だけでなく、組織が財源を得ながらマネジメントをしていくこと

地域のマネジメントは、みんなが同じ方向を向いて、街づくり活動をしていくことにほかなりません。上部利用施設が続々と完成してきており、これから新たな課題も出てくると思います。これからの地域のマネジメントのため、ネットワークや組織体制、方針などを関係者でつくり上げていただきたいと思います。



東京大学大学院  
新領域創成科学研究科教授  
出口 敦 氏

## 05 意見交換



世田谷区北沢総合支所  
拠点整備担当課長  
小田急電鉄株式会社  
エリア事業創造部 課長代理  
京王電鉄株式会社  
開発推進部 課長

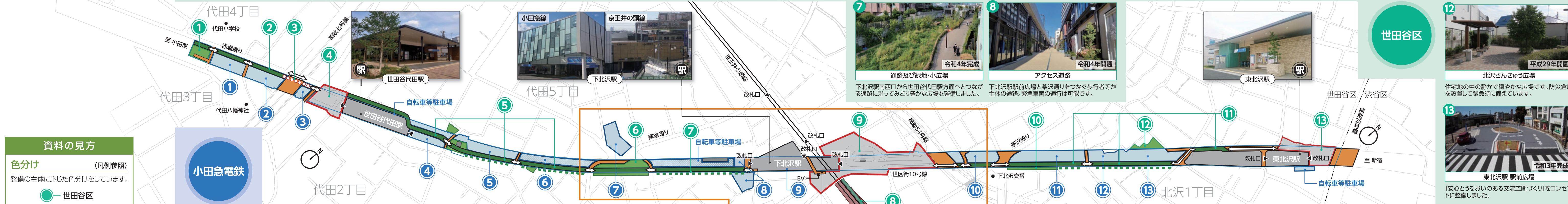
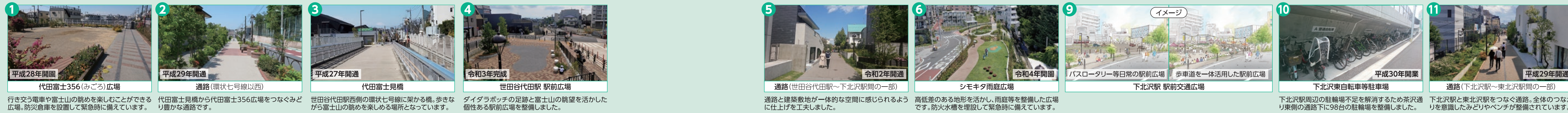
参加者の皆様からチャットやふせんでいただいたご意見・ご質問に対して、世田谷区・小田急電鉄・京王電鉄よりお答えしました。

P.10~11をご覧ください。  
また、当日ご紹介できなかったご意見等も含め、  
詳細は世田谷区のHPでご覧いただけます。(P.12参照)

# 02-1 当日の説明内容

～経過報告について～

(令和4年7月時点の情報に更新しています。)



## 資料の見方

### 色分け (凡例参照)

整備の主体に応じた色分けをしています。

- 世田谷区
- 小田急電鉄
- 京王電鉄

凡例

駅前広場	小田急電鉄 (施設利用地)
緑地・小広場	京王電鉄 (施設利用地)
立体緑地	鉄道事業者 施設 (駅舎等)
アクセス道路	交差道路
環七橋断橋	
交差道路等 通行の安全性の確保	

※ 今後整備する施設は、変更になる可能性があります。

世田谷区オフィシャルチャンネル (YouTube) で、小田急線上部利用施設の紹介動画をご覧ください。 (P.12参照)

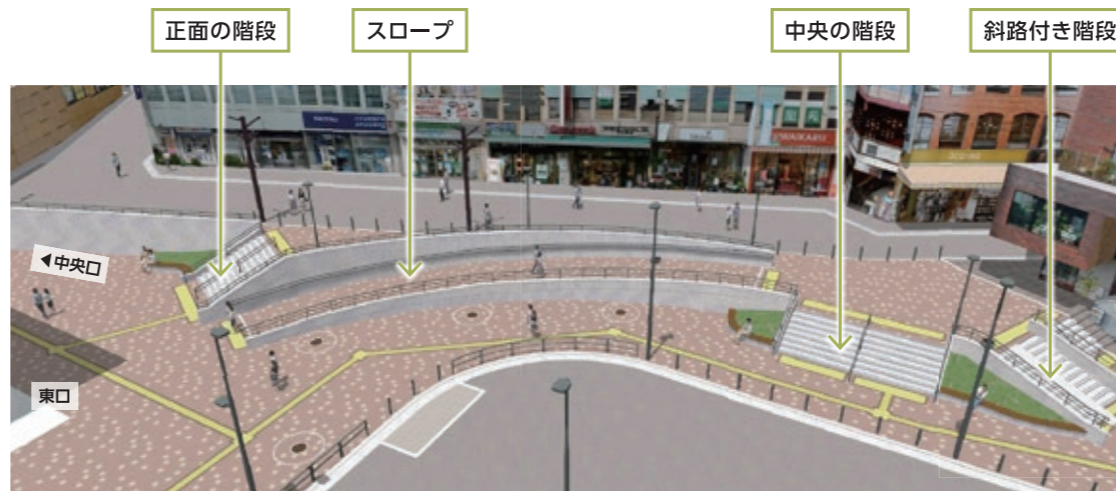
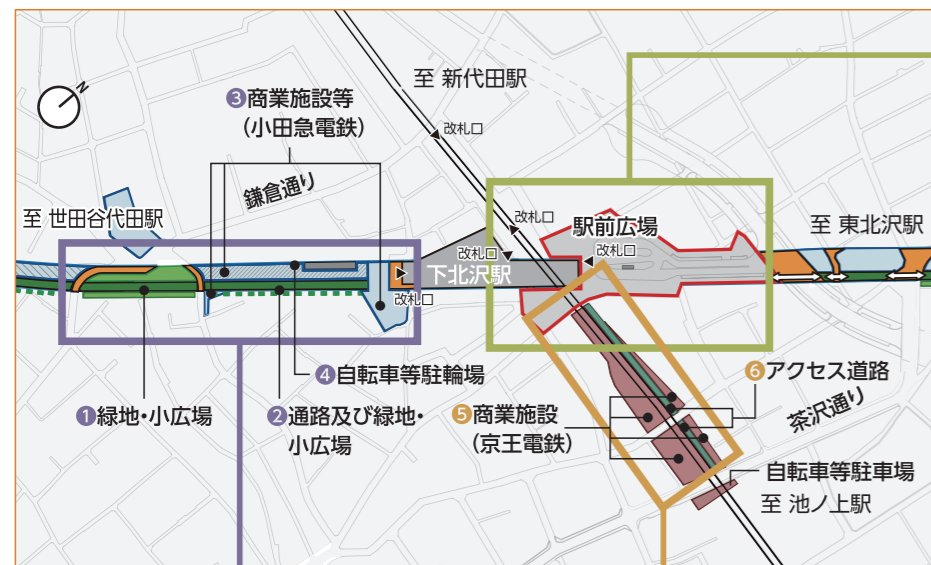


## 02-2 当日の説明内容

### ～令和3年度の実施事業及び今後の取組みについて～

下北沢駅の周辺（駅南西口側・京王井の頭線高架下周辺、駅前広場）の施設整備の内容及び今後の整備スケジュールについて、世田谷区・小田急電鉄・京王電鉄より説明しました。（写真については、令和4年7月現在のもので掲載しています。）

当日の資料については、世田谷区のHPをご覧ください。（P.12参照）



### 駅前広場

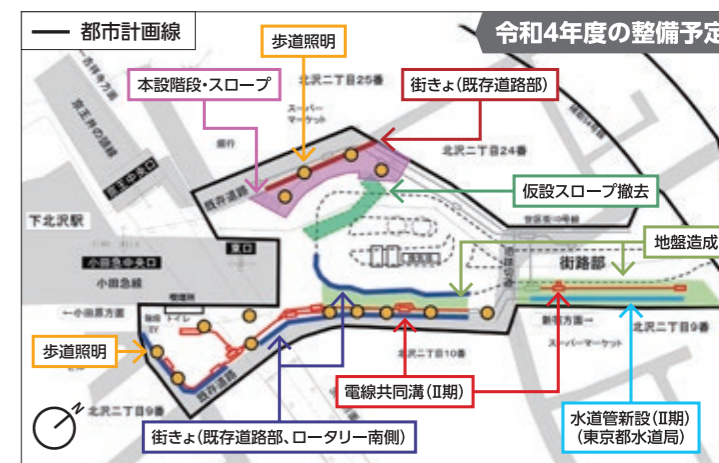
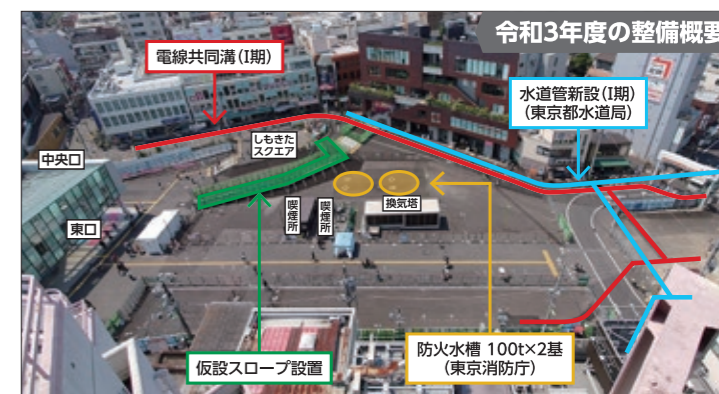
北側のスロープ・階段のしつらえ、植栽やベンチ、壁面や歩道の色彩、歩車道境界の段差と柵等について検討を進めました。

令和3年度の整備概要及び令和4年度の整備予定は、右の図のとおりです。

### 北側の動線計画について

整備イメージ（令和4年度整備予定箇所）

### 工事計画について



### 駅南西口側

舗装や植栽等の工夫により、デザインイメージを調整し、小田急電鉄の施設と区の施設の連続的な空間を整備しました。

緑地・小広場を2か所整備することで、これまでみどりが少なかった下北沢駅周辺において、みどり豊かな空間が新たに生まれます。



### 京王井の頭線高架下周辺

高架に沿って、区が下北沢駅前広場と茶沢通りを結ぶ歩行者等が主体の※道路（アクセス道路）を、京王電鉄が高架下等に商業施設を整備しました。

これにより下北沢駅周辺における回遊性のさらなる向上や、新たなまちの賑いや魅力が創出されます。

※アクセス道路は、緊急車両を除く一般車両の通行不可。





ご参加の皆様からチャットや付箋<sup>ふせん</sup>でいただいたご意見・ご質問に対して  
世田谷区、小田急電鉄、京王電鉄によりお答えいたしました。  
以下にその一部をご紹介します。

その他のご意見は世田谷区のHPをご覧くださいませ。  
(P.12参照)

下北沢駅前広場(下北沢らしさについて)

Q 世田谷区はウォーカブル推奨都市として、何か取り組みを予定していますか？  
・「下北沢らしい」って、どのようにお考えですか？

A (回答者:世田谷区)  
下北沢は歩行者主体の街としての特徴があることから、駅前広場の歩道には、ベンチや憩いを感じていただける緑の配置を考えております。また将来の利活用については、下北沢らしい活用の工夫や演出を地元の方々と考えていきたいと思っています。

下北沢駅前広場(利用開始について)

Q 茶沢通りから駅前広場への車のルートができていない中で、空間だけで使えないのではないのでしょうか。

A (回答者:世田谷区)  
駅前広場に至る交通動線の補助第54号線については、鋭意整備を進めております。駅前広場が完成した時点で、通勤通学の送迎などで利用ができるよう、今ある道路を通して駅前広場に車が入って来ることができないか検討しています。一方で、道幅が狭かったり一方通行であったりと、下北沢は歩行者が非常に多いことから、心配のご意見をいただいております。安全に車を誘導して、安全に街を歩いていただくためにどうしたら良いか、検討を深めている状況です。

下北沢駅前広場(整備検討について)

Q 素敵なイメージをありがとうございます。駅前広場について、住民側で議論し、色々提案を出したと記憶しています。その中で、何か反映されたことがあればぜひ教えていただきたいです。

A (回答者:世田谷区)  
整備自体が地元の方々との話し合いの中で作り上げてきたものであります。どれかというよりも全てを見ていただきたいと思っております。ただ、駅前広場は、道路として法令遵守しなければならないことをしっかり説明をさせていただきながら、この形になってきたということをご理解していただきたいと考えております。

世田谷代田駅～  
下北沢駅間の緑地・小広場

Q 下北沢駅南西口から世田谷代田駅間の緑地を、子どもも皆集まれる場所に出来たら良いと思う。夏はお祭りなどで出店も出してほしい。

A (回答者:世田谷区)  
西側緑地は一部工事が完了していて、ぜひ子どもたちにも楽しく遊んでいただきたいと思っております。お祭りなどの活用については、近くにお住いの方の理解を得ていく必要があります。利用に当たっては、法律や条例に則った範囲で使用許可を取って使っていただくこととなりますので、今後、皆さんと利用のあり方について考えていきたいと思っております。

緑地・小広場の周辺道路

Q 緑地・小広場とポーナストラックとの道路(鎌倉通り)に、横断歩道または信号機は作れないでしょうか？かなりスピードを出す車が多く不安です。

A (回答者:世田谷区)  
今後、緑地・小広場の利用が始まると、ポーナストラックから広場を通して下北沢駅へ行くルートができるため、その利用状況をしっかり確認し、交通管理者と相談しながら横断歩道の設置等、歩行者にとって安全で歩きやすい道づくりを進めていきたいと考えております。

下北沢駅前広場(災害対策について)

Q 街づくりで重要なのは安心安全だと思います。全体として災害時の対策はどのようなことが取られているのか。まちの人だけでなく、電車の乗客も地上に出てくるのが心配です。

A (回答者:世田谷区)  
駅前広場には多くの方が一時的には滞留できると思います。その後、広域避難場所である羽根木公園などに、小田急線上部利用の通路を通して真っ直ぐ歩いて行くことができます。そのような災害への対応の視点を持って取り組んでまいりました。

下北沢駅前広場(ロータリーについて)

Q 下北沢駅前にどうしてバスロータリーが必要なんですか。補助54号線にバスが来れば十分だと思うのですが…。今の駅前の広々としたヨーロッパ風の広場イメージにとっても好感を持っています。

A (回答者:世田谷区)  
街の課題であった鉄道とバス・タクシー等との交通結節機能の強化、また駅前のバリアフリー化による駅前を利用する方々の利便性の向上、身体の不自由な方々の自動車などが駅前まで車で入って来られるような環境づくり、それらを踏まえ小田急線の連続立体交差事業を契機として、駅前広場整備を進めております。多くの権利者や関係者の協力のもと、現在の整備に至っており、駅前広場を整備する趣旨を改めてご理解いただけますようお願いいたします。

まちの  
にぎわいづくり  
について

Q 小田急・京王の新しい施設を御紹介くださりありがとうございました。まちに次々と新しい施設が出来てくるのを楽しみに見守っています。施設が完成した後は、商業的な利用の他にも地元と協力した「まちづくり」の手法で運営していくこともあるかと思っております。小田急・京王さんにそれぞれ今、考えているまちづくり的な活動などあるようでしたら教えてください。

A (回答者:小田急電鉄)  
小田急は、植栽の管理等でシモキタ園藝部と一緒に共同管理を進めております。今後の管理やイベント等においても、地元の方々との連携を進めていきたいと思っております。

(回答者:京王電鉄)  
京王は、3月30日にミカン下北が開業することでやっと街に参加することができます。皆さまとしっかりと連携を図りながら、京王やミカン下北ならではの取り組みと、地域課題の解決にも皆さまと一緒に取り組んでいきたいと思っております。

